

平成 31 年度

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科

博士後期課程（芸術工学専攻）

入学試験問題

小論文（60分）

【注意事項】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は表紙を含め 2 枚あります。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 解答用紙は1枚配布します。  
解答用紙が不足する場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。  
解答用紙のそれぞれに、受験番号、氏名を記入してください。
- 4 この冊子のどのページも切り離してはいけないが、余白等は適宜利用してもかまいません。
- 5 試験終了後、問題冊子は回収します。問題冊子は持ち帰ってはいけません。

## 小論文

### 【設問】

戦後に建設されたビルの学術的・社会的評価の現状を簡単に述べたうえで、その意匠を研究する意義について述べなさい。

## 小論文

高齢化にともない開発が盛んな「みまもり技術」について、病院、介護施設、自宅に導入されている技術をそれぞれ 100 字以内で説明してください。

また、スマートデバイス、スマートホームなどの技術が、現代人の生活とどのような関係性を築いていくことが望ましいと考えるかを 400 字以内で論じてください。